

令和7年度 自治基本条例見直しに関する主な意見

- 第1回検討委員会や市民アンケートにおいて、条例見直しに関する意見を以下のとおり整理したもの。

【第1回自治基本条例見直し検討委員会における主な意見】

1. 自治基本条例の周知にあたっては、子どもから高齢者まで、あらゆる世代に届くように取り組むこと。あわせて、条例の内容が難しく感じられる場合があることを踏まえ、世代や理解度に応じた分かりやすい周知方法を検討すること。
2. 市政について関心がない人の理由として、「難しくよく分からない」と感じている人が多い。そこで、誰にでも理解しやすい情報発信を行うなど、伝え方を工夫する必要がある。
3. 若い世代が市政に興味や関心を持てるよう、地域コミュニティでの活動への参加を促すとともに、市政参画につながる仕組みの検討。
4. 若い世代が日田を離れても将来戻れるよう、雇用の場の確保や、郷土愛につながる日田市の魅力発信について。

【自治基本条例アンケート自由記述における市民参画についての主な意見】

5. 自治基本条例の施行後、どのような変化があったかを知りたいと思う。
6. 色々な人の意見が取り入れられるように、参加しやすい日時で開催することや、SNSやオンライン等を利用しての幅広い意見を言える場を作ることも良いかと思う。
7. 今はSNSなどで市民も自分の思いや意見を発信できるようになってはいるが、高齢者等の多くはそれもできない。小さな呟きにも耳を傾けてほしいと思う。